

環境会計

ニチレイグループは、環境保全活動に要したコストおよび環境保全上の効果を定量的に把握するために、2000年度より環境会計を導入しています。

環境保全コスト

(単位：千円)

コスト区分	主な取組み内容	食品工場		物流センター	
		投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト		128,826	852,385	341,100	341,560
内訳	公害防止コスト 食品工場 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 加熱や給湯のためのボイラー設備や食品臭気対策設備の維持管理 物流センター 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 停車トラック騒音対策	61,962	541,604	81,639	83,989
	地球環境保全コスト 省エネ対応設備導入や設備の効率化 フロンの適正管理	60,606	54,021	252,653	115,789
	資源循環コスト 廃棄物の適正保管、分別徹底に向けた廃棄物置き場の整理 リサイクルに向けた処理装置の導入 リサイクルまたは処理の業者委託、適正処理の管理 水の循環利用	6,258	256,761	6,808	141,782
	上下流コスト 環境物品などの調達、購入(グリーン購入) ※発生した通常購入との差額	0	3	0	36,047
管理活動コスト 環境マネジメントシステム構築、維持管理 従業員への環境教育 事業所周辺の美化活動	0	50,845	0	61,721	
社会活動コスト 事業所周辺以外の自然保護や美化、緑化活動 環境保全事業、団体への寄付	0	1,236	0	2,658	
合計		128,826	904,469	341,100	441,986

2010年度投資額の主な内容

(食品工場)

廃水処理設備の維持、負荷低減
 悪臭防止に係わる設備導入
 設備の省エネ対応

(物流センター)

新設センターにおける省エネ対策
 省エネ型の照明器具の導入
 冷蔵庫への暖気進入防止対策
 自然冷媒の導入

集計範囲

国内の食品工場および全物流センター(東日本大震災の影響により、2009年度は報告しました2食品工場のデータが含まれません。又、(株)フクミツの工場は含んでいません)

集計の考え方・方法

- ①減価償却費は経理システムの「固定資産一覧」を基に、廃水処理設備などの環境負荷に関わる設備を対象とし、法定耐用年数を用いて計算しています。
- ②人件費は環境保全活動ごとに必要となる作業工数を割り出し、作業工数に作業員数および事業所の平均賃率を乗じて算出しています。

2010年度環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		効果金額
収益	リサイクルによる売却益	45,119
費用削減	廃棄物削減による原材料、資材購入費及び廃棄物処理費の削減	13,092
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(電気)	18,521
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(熱)	17,589
	省資源(節水、容器包装減量など)	31,650
合計		125,972

集計範囲

2010年度末までにISO14001認証取得済みの11工場

集計の考え方・方法

- ①測定結果などにに基づき集計可能な実質的效果(リサイクル推進活動により生じた売却益、電力削減などにより生じた費用削減)についてのみ集計しています。
- ②2009年度および2010年度に新たに実施した環境保全活動(年度の途中から実施したものも含む)によるもので、2010年度に発生した利益貢献金額に相当します。